

# 森のアトリエ 制作ワークショップ

～ 森と子どもをつなぐ場をつくろう～

木や土に囲まれた心地良い空間で絵本を開き  
ゴロゴロしながらロケットストーブで暖まり  
自分で集めた小枝で沸かしたお茶でひと休み

ふと外に目をやると、窓辺の餌代では小鳥がうれしそうに餌をついばむ

そんな森とのつながりをからだ全体で感じられる  
「森のアトリエ」づくりが始まります

## 「森のアトリエ」とは

老朽化の進んだプレハブ小屋を、2011年より開始した「子育てと循環の森」プロジェクトの拠点として、子どものための森の絵本のスペース、研修などのレクチャールームへと再生します。間伐材や土などの自然素材を活かしながら、地元の大工さん、ワークショップ参加者、学生ボランティアなどの協力を得ながら進めてきます。

## ワークショップ参加者募集中

- ▼7/14-16 森の素材を暮らしに取りれる  
～アトリエの装飾、森の本棚づくり～
- ▼9/29-30 森のエネルギーを活かす  
～本格的なロケットストーブづくり～
- ▼11/23-25 森の小動物に出会う場づくり  
～動物が間近で見られる仕掛けづくり～

講師：7・9月 小池 雅久氏（美術家、RIKI-TRIBAL）  
11月 佐藤 洋氏（都留市宝の山ふれあいの里  
ネイチャーセンター）

## こうなったらいいな、森のアトリエ （構想案）

- ▼寝そべりながら絵本が読めるスペース  
（土のベンチや様々な種類の木の感触が楽しめる床）
- ▼木の実がなっている様に展示できる森の本立て  
（アトリエの室内がえほんの森に変身！）
- ▼暖房用のロケットストーブ  
（自然素材で手作りできる燃焼効率の高いストーブ）
- ▼土のホットベンチ  
（ロケットストーブの煙の排熱で温まります）
- ▼森のアトリエから森へいざなう回廊  
（途中には、ツリーハウスのような見晴らし台も?!）
- ▼森の小動物と出会うエンカウンターボックス  
（小動物が自らやってきて観察できる仕掛け）

などなど

みなさんのアイデアも取り入れながら、  
ステキな森のアトリエにしていきます。

森と風のがこ

## 開催要項

- 主催 NPO法人岩手子ども環境研究所
  - 対象 森林環境教育、森づくり、セルフビルド、循環型の暮らし等に関心のある方
  - 定員 20名
  - 場所 森と風のがっこう ※最寄りバス停から送迎有り（最寄の下車駅：東北新幹線 いわて沼宮内駅）
  - 内容 各回のテーマに合わせて、自然素材の扱い方などのレクチャーを組み合わせながら、森のアトリエの機能を整備していくを通して、森と暮らしをつないでいくノウハウをまなんでいきます。
  - 開始終了時刻 初日13:00開始、最終日14:30終了
  - 参加費 7月・11月：1万5千円 / 9月：1万円（宿泊費・食費、保険代含む）
  - 申込み 下記の申込事項を郵送、FAX、E-Mailにてお送りください。詳細は、お申込み後にご案内します。
- 【申込事項】（1）氏名、ふりがな （2）所属or普段のお仕事  
（3）性別、生年月日 （4）〒、住所 （5）電話・FAX  
（6）E-Mail （7）送迎希望（行き、帰り、両方の区別も）
- ※本事業は、地球環境基金の助成を受けて実施しています。



## 交通アクセス

- 最寄りバス停「小屋瀬」（JRバス白樺号）より送迎有り。  
（先着順。送迎可能な人数に限りがあります。）  
お車の方は森と風のがっこうに直接お越しください。
- 【自動車】・いわて沼宮内駅から約40分  
・滝沢I.Cから約1時間5分  
・一戸I.C・九戸I.Cから約1時間

## お申し込み・お問い合わせ先

NPO法人 岩手子ども環境研究所（森と風のがっこう）  
028-5403 岩手県岩手郡葛巻町江刈42-17  
TEL&FAX 0195-66-0646  
morikaze0@gmail.com  
<http://www.morikaze.org>



## 講師プロフィール

### 小池 雅久【7・9月：装飾、ロケットストーブ 担当】

美術家・彫刻家、RIKI-TRIBAL主宰

武蔵野美術大学修士課程修了。東京都国立市において、老朽化した住宅を借り受け、プランターコテッジを制作し、「緑をまとう家（INAX BOOKLET）」にその様子が掲載。2009年より長野市を活動拠点とし、土蔵を改装したカフェMAZEKOZEを中心に、持続可能性をテーマとした活動を続けている。森と風のがっこうにおいては、カフェの廃材利用のイス制作、森のキッチン制作、森づくりワークショップ講師等に携わる。



### 佐藤 洋【11月：森の小動物 担当】

都留市 宝の山ふれあいの里ネイチャーセンター

都留文科大学在学中は、環境生態論ゼミにて今泉吉晴氏の元で動物行動学を学ぶ。現在、都留市の博物館学芸員として、小動物の感察会や展示のみならず、観察手法の開発・普及活動に携わる。心に染み渡る思い・学び・発見を通じ、共に活動していくことを大切にしている。都留市内の保育園における森の保育園アドバイザーや多くの小・中学校の総合的な学習の時間の講師も務める。



### 黍原 豊【森のアトリエプロジェクト 担当】

NPO法人 岩手子ども環境研究所

岩手大学農学部在学中は、クマやワシカ類の調査、沢登り、山スキーなど、野山で多くの時間を過ごす。森と風のがっこうの立上げから関わり、2003年より県立児童館いわて子どもの森プレーリーダーとして、野外におけるプログラム開発、ツリーハウス製作等に携わる。2005年4月より、森と風のがっこうに再び参画。子どもを対象とした自然エネルギー、自然体験キャンプのディレクター等を務める。



## 森と風のがっこうとは

標高700m、11世帯の集落にある廃校を再利用したエコスクール。2001年、葛巻町の協力を得て岩手子ども環境研究所が開設。「もったいない、ありがたい」を合言葉に、パーマカルチャーの手法を取り入れ、自然エネルギー教育、エコロジカルな生活教育の場として、循環型の暮らしが実感できる施設づくりを進めています。

